



摘譯  
ボンベイ府商法會議所ノ事  
續キ畢

大藏省  
翻譯課





414  
A 5180  
2.

サス天...  
政府修船所  
テ、エルフ...

エス...  
ト及ヒモジ...  
ノ地ヲ用ル...

バ...  
コムベニ...  
エス...  
トノ地...  
名區ノ南側...

他ノ修船所ヲ築造シ己ニ其工落成ニ至レリ

カスス...  
インドツクノ地タルヤ棉花貿易ノ中央ニ對シ...

バルプレス...  
棉花夾ノ隣接セリ...  
六百四十五尺横二百...

尺ニシテ...  
本面三アクル...  
我ガ四反半ナリ水門ノ幅...

其...  
基礎ハ阜頭平面ノ下二十六尺九インチニアリ水底ノ

深サハ大千潮ノ時十八尺大満潮ノ時二十一尺六インチニ至ル

尤ミ時アリテ二十三尺六インチニ及フアリ阜頭ノ表面ハ一

千五百リニ...

ニ物置等ノ用ニ供スル為メ十萬八千平方ヤルト余ノ附屬地...

大正十一年四月

蔵



吃水十八尺ノ船舶ハ常ニ此修船場内ニ出入スルヲ行又ス  
リンググタイド潮ハ日間ハ吃水二十尺ノ船舶モ十分出入セシ  
ルヲ得ルナリ  
又長サ三百尺ノ船舶ヲモ自由ニ此場内ニ出入セリ然レモ一十  
噸マテノ蒸汽船最モ適當セル所ニシテ阜頭ノ周圍一時五艘ヲ  
並べ容ル尤モ必要ノ場合ニ在リテハ尚ホ三艘ヲ容ルヲ得ベ  
レ又此修船場所ニ一大起重器ノ備ヘアリ且ツ阜頭ノ周圍皆  
路ヲ布キ二十噸マテノモノハ容易ニ運搬スルヲ得故ニ重量  
ノ機械蒸汽罐等ヲ陸揚ケスルニ甚タ便利タリ  
サススーンドツク税額及規則ダウソッドサススーン會社ヨリ修  
船料定價ノ事  
目録ヲ公ル  
テ詠會議所ノ訂定ヲ經テ許認セラレシキ  
カ為メナリ是レノ議長エチノ事

ル氏以下五名ニ委員ヲ設ケ之ノ  
正増補スル所ヲ以テ之ヲダウソッド  
ウエストル  
二十ヶ年ヲ經テ評議未タ終ラズ且ツ印度政府ノ見込ヲ領受セ  
ザリキ印度政府ハ十一月中該會議所ノ覚書迅速ニ右鐵道  
ノ建築アランヲ請願スル所ニ答フル書ニ曰ク不日 其画  
滿并ニ費用ノ積リヲ領収セシ上此事ヲ熟考スベキナリト  
右鐵道ノ該管下ニ在テ特ニ欠ケバカラザルハ是迄諸會社ヨ  
リモ迅速建築アランヲ屢々政府ニ請願セシ數通ノ覚書ヲ  
テ知ルヘシ而シテ英國ニ於テモ亦其建築ノ印度一般利益上ニ必  
用ナルトヲ推測セリ去ル八月中英國「マンチエスト」向法會議  
所ヨリ「ボンベ」商法會議所送ル書ニ曰ク右鐵道建築ノ事  
一併キ己ニ商議ヲ起シ而シテ「アーメンダバット」ヨリ「



至ル中間ニ錢道ヲ延キスルニ至レハ果シテ一貴重ノ國ニ  
開出スベシ故ニ最モ緊要ノ事件ナリト考定セシテ以テ  
ニ付テノ覺書ヲ即チ國務卿ニ開呈セリ而シテ十一月印度貿易  
ニ関セル龍崎ニ高及ク銀行ヨリモ該事件ニ付キマルキスオ  
フ、サリスビエリ當時ノ國務卿ナルカ氏ニ覺書ヲ開呈セシニ氏之ニ  
テ該事件ニ付キテ印度政府ト目今往復中ナリト云ヘリ  
該會議所ニハ右錢道建築ノ事ニ付キ再々政府ニ迫ラサル  
得サルニ至レシ而シテ今度ハ該會議所ノ覺書ヲ施政參議ヲ經テ  
國務卿ニ開呈セリ

然ルニ一千八百七十九年八十年ニ終ル五ケ年間ノ錢道  
非常資金ヨリ押出スヘキ費ハ  
一千八百七十五年六  
月十二日ニ宛テガットオス、  
アーメンタハトニリ、アジメ

揭載シタ  
ス

レ

レポーテナリ、費用ニ  
シヤブ、ヨク、インテ、エス、ワ、レ、  
ハ彼ノ新路上ニ揭載セシ諸錢道ヨリモ言國一般ノ利益上ニ緊  
要ナルト此レニ及フモノナレ故ニ該會議所委員ハ書ヲ施以參  
議ニ呈シ右預算中ヨリ此錢道建築費ヲ除カレタル理由先何日  
迄ニ此建築ノ舉アルヘキカラ印度政府ニ諮詢アラシム  
リ施政參議、即チ此書翰委員ヨリ施政參議ニ送呈セシ書ノ寫ヲ印度政府ニ  
送レ該會議所ノ問ニ答フルトテ得ル程ノ理由ヲ供セラレシ  
トテ請ヘリ

○ボンベイ管内ノ地方官ニテ賦課シ来レル府縣稅及國產稅印  
度内部ノ各地方ニ於テ該國普通ノ貿易物品上ニ國產稅及府縣  
稅ヲ賦課セシムル貿易上大害アルヲ發見セリ是ヲ以テ該會議  
所委員ハ實際ニ就テ、取調フルトテ必要ト考定シ、

道ヲ除ク

義



管内十二縣 手問合ハセタリ而ノ各縣ノ事 得  
 及シテ或ル縣ニテハ及物、絨、絹、金屬、棉花、羊毛、生糸、及ヒ他ノ物  
 品上ニ國產稅ヲ賦課シマ各縣ニ於テハ之ニ縣稅ヲ賦課セリ  
 ノ其縣稅ハ殆ソト國產稅ニ及フ程ニ嚴密ノ束縛ヲ以テセシ  
 ヲ知ルニ至レリ○印度政府一千八百六十八年十一月十四日  
 布告ニ曰ク國產稅ヲ課スルハ政治ノ宜キヲ得タルモノニア  
 ス而シテ亦一般ノ貿易上ニ害アルヲ以テ之ノ賦課スル  
 即チ「キ」牛酪、薪、雞卵、及ヒ牛羊ノ如キ日ニ消費ス  
 品ニシテ該國一般貿易中ニ列セサルモノニ限ラザルベカ  
 ラズト然ルニ此時一千八百七十四年五年ノ間ヲ指スニ於テモ  
 尚ホ依然ハ苛稅ヲ賦課スルニ以テ該ノ議所ハ前述十二縣ノ  
 歲入、各縣ニ於テ縣稅ヨリ上ルルノ歲入ノ及ニ國產  
 賦課ニ來レレニ及ニ中ニ列ス

レズ

賦課セル稅額、スルノモ  
 二及フ程、求時ノ景況ヲ詳述シタ  
 時恰一、千八百七十二年制定「地方施政修正ノ  
 期ニ及フヲ以テ曾テ印度政府布告ノ縣稅賦課ノ趣旨ニ及リ該  
 國普通ノ貿易中ニ列セル百貨上ニ賦課シ來レル縣稅ヲ令シク  
 廢止シ而シテ其賦課スベキ物品即チ前述牛酪、薪、果實等  
 一ヲ施政ニ關シテ迫ルノ好機會ヲ得タリ  
 該會議所ハ又此事件ニ屬スル書類ヲ悉ク取纏メテ英國「マンチ  
 エストル」ノ高法會議所ニ送付シ同所ヨリ此中ヲ國務院ニ建  
 シ以テ右諸稅廢止ノ事ニ付キ該「マンチ」會議所ニ協力セシ  
 ヲ依頼セリ  
 十一日ニ終ル一、聞 出入預算表ニ於テハ歲出項

入港ノ船數ヨリ取立 一千八百七十六年一月二  
 日、教野ノ名々



五、七〇七、三〇九、一、ス 歳入預算ノ高ハ一三、八九、  
 四、一、ス、ニ、シ、ル、ク、一、八、九、〇、二、九、  
 ス、モノ、ナ、リ、  
 但シ歳出預算額中ニハ一千八百七十六年四月一日ニ於テ  
 府ニ拂フヘキ利息ヲ合算セリ

ルツロー	アンター	バイス	ルツロー	アンター	バイス
〇、ホル	〇、ホル	〇、ホル	〇、ホル	〇、ホル	〇、ホル
資本	資本	資本	資本	資本	資本
一、千、八、百、七、十、三、年、六、月	一、千、八、百、七、十、三、年、六、月	一、千、八、百、七、十、三、年、六、月	一、千、八、百、七、十、三、年、六、月	一、千、八、百、七、十、三、年、六、月	一、千、八、百、七、十、三、年、六、月
二、十、六、日、ヨリ	二、十、六、日、ヨリ	二、十、六、日、ヨリ	二、十、六、日、ヨリ	二、十、六、日、ヨリ	二、十、六、日、ヨリ
一、千、八、百	一、千、八、百	一、千、八、百	一、千、八、百	一、千、八、百	一、千、八、百
七、十、四、年、三、月、三、十、日	七、十、四、年、三、月、三、十、日	七、十、四、年、三、月、三、十、日	七、十、四、年、三、月、三、十、日	七、十、四、年、三、月、三、十、日	七、十、四、年、三、月、三、十、日
ニ、終、ル、歳	ニ、終、ル、歳	ニ、終、ル、歳	ニ、終、ル、歳	ニ、終、ル、歳	ニ、終、ル、歳
一、千、八、百、七、十、四、年、四、月	一、千、八、百、七、十、四、年、四、月	一、千、八、百、七、十、四、年、四、月	一、千、八、百、七、十、四、年、四、月	一、千、八、百、七、十、四、年、四、月	一、千、八、百、七、十、四、年、四、月
一、日、ヨリ	一、日、ヨリ	一、日、ヨリ	一、日、ヨリ	一、日、ヨリ	一、日、ヨリ
一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三
一、三、	一、三、	一、三、	一、三、	一、三、	一、三、
七	七	七	七	七	七
利息分	利息分	利息分	利息分	利息分	利息分
八、四、三、八、七、一	八、四、三、八、七、一	八、四、三、八、七、一	八、四、三、八、七、一	八、四、三、八、七、一	八、四、三、八、七、一
七	七	七	七	七	七

✓6

五年三月二十日	終ル一年間歳入額	算不足	新築費用ノ収入高ナリ	モ超過セシ預算ノ不足	其他収入高ノ費用額ニ	足ラザル項十萬
一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三	一、八、五、六、三、三
一、四、二	一、四、二	一、四、二	一、四、二	一、四、二	一、四、二	一、四、二
七、二、六、七、三	七、二、六、七、三	七、二、六、七、三	七、二、六、七、三	七、二、六、七、三	七、二、六、七、三	七、二、六、七、三
利息計	利息計	利息計	利息計	利息計	利息計	利息計
八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六	八、七、九、三、四、六
一、二、七	一、二、七	一、二、七	一、二、七	一、二、七	一、二、七	一、二、七

○繫船場内ニ避難セル小船ニ港長ヨリ賦課セル新税ノ下ニ於ル  
 十月中商人及シ船持主一百十八名ヨリ港長ニ宛テ願書ヲ送  
 商人及シ船持主ノ願書ニ送付セリ其文ニ曰ク港長ヨリ  
 一千八百七十一年四月ヨリ新税ヲ課センコトナリ



右ハ當ニ人民ノニ等アルノミナラス港内普爾

不都ノヲ来ス者概テ六ナラン云々ト該會議所委員ハ

馮ニ別書ヲ添ヘテ避難ヲ賦課スルノ又都合ヲ論セリ政府

之ニ答テ曰ク政府ハ其新稅(避難料)ヲ賦課スルニ其ヲ廢止セ

レムルノ理ヲ未タ見出スヲ得ス云々ト

ホンベイ管内ニ「チエー」ト一種ヲ播種スル「ドクトル」氏

ヨリ「チエー」織三種ノ見本報告書ヲ該會議所ニ致シ之ヲ政

ニ呈セン「チエー」請ヘリ

第一号見本此ノ「チエー」トハ「ギエマ」ラツト地方ニ産出シ同也ハ

之ヲ用テ「コム」モシツウ「サン」麻絲及ヒ「ゴン」ニコロース

製造シ之ヲ「ホ」ベ「管」下ニ販賣シ「チエー」屢々齎シ来ル「チエー」アリ

キ而シ「ホ」ベ「管」内ノ地味ハ之ヲ播種

ト「三」個ノ見本「チエー」最良ノ

委員此「チエー」見本短ク且

混淆スル「チエー」サレハ獨リ之ヲ用

蓋シ「ドクトル」氏ハ此ノ麻織ノ曾見セラレシモノタル

トト未タ知ラザルガ故ニ之ヲ最モ有益ノ發明ト思惟セル如

シ該會議所委員ハ右見本ニ報告書ヲ政府ニ致スニ當

ベ「管」内ノ地味ハ或ハ「チエー」トヲ播種スルニ違ヒス

「チエー」ノ疑アレハ成ル大ケ政府ハ之レク播種ヲ奨励セシ「チエー」述

ヘタリ  
向日葵油バドガ「チエー」名ノ試驗園「チエー」フレツト「チエー」氏ヨリ其政府ニ  
呈セシ向日葵油ノ見本ニ政府ヨリ該會議所ニ下付シ其賣買  
代價要ノ景況及ヒ輸出品ナルヤ否ヤヲ取調ス「チエー」請  
故ニ該會議所委員ハ之ヲ龍動ニ在ル「チエー」



八八

會ニ送付レ同	真ノ等ノ評價ヲ求メタリ高會ニ送付
クートンノ評價ルニ十八封度ナリ然レモ實際上ノ賣價ハ價ヲ	
定メンニハ先ツ試ニ十ニ程ニ送ルベト是ニ於テ政府試験	
園長ラシテ之ヲ試験セシムルニ向日葵ノ種子百磅ヲ以テ油ト	
ナスニ七ポツハナシヲ要セリ然ルニ此價位ニ到底賣掛ク	
ヲ得ガレハ此事竟ニ止ミタリ	



